

和郷グループの30年とこれからの取組

—地域おこし六次化の実践—

木内博一氏は、1990年3月農林水産省農業者大学校卒業後、千葉県香取市（旧山田町）の家業を継ぎ就農する。1990年代前半と言え、GATTウルグアイ・ラウンド交渉の進展に衆目が集まり1993年には合意に至る時期である。

農業・農村をめぐるそのような時期に、家業を継いだとはいえ、1991年には木内氏を中心に地元有志5名での野菜の産直が始まる。地元の地方市場では値がつかず、高速道路を使えばほぼ同じ時間で築地市場に持ち込める。そして買参人の話をいろいろ聞く中で産直が始まる。明治屋、生協、ダイエーと取引の相手は広がっていった。

1996年には有限会社和郷（2005年に株式会社に組織替え）を設立し、需要と生産者をつなぐ体制を整え、1998年には農事組合法人和郷園を設立し、地域の意欲ある生産者を結集する。同時に物流センターを整備していく。また、消費者の声を取り入れて始めたカットごぼうは六次化のさきがけであり、カット野菜工場、冷凍野菜工場を整備していく。

これらの地域事業を核として、現在の和郷グループは、GAPへの取組、農園リゾート運営、海外事業、農業コンサルティングなどを多角的に展開していく。

今回は、新しい農業のかたちを模索し続ける和郷グループの30年間わたる実践を振り返り、これからの取組について率直に展望していただく。

開催日時 令和 **8** 年 **6** 月 **22** 日（月） **14:00~16:00**

講師 株式会社和郷代表取締役・農事組合法人和郷園代表理事
木内 博一（きうち ひろかず）氏

会場 日本農業研究会館 1階会議室＋オンライン（Microsoft Teams）
東京都千代田区紀尾井町 3-29

お申込み 以下のフォームよりお申込みください（当研究所HP上のリンクからもアクセスできます）
<https://forms.gle/1KJsSpFmvFP6HxZE9>
6月17日（水）締切
定員に達し次第、早期に締め切る場合がありますのでご了承ください

公益財団法人 日本農業研究所

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町 3-29

日本農業研究会館

HP ▶ <http://www.nohken.or.jp/>

（お問合せ先）

E-mail ▶ kouenkai@nohken.or.jp

TEL ▶ 03-3262-6351 FAX ▶ 03-3262-6355